



ジモ×ガク
JIMO X GAKU

地域と学生をつなぐ ジモ×ガク

—ジモ×ガクの今後について

藤本 ジモ×ガクは色々なプログラムを通じて、地域の環境や人の良さなど『江別の魅力』を学生がインプットする機会のかなと思っっています。

卒業後、一度都会で就職してみても、自力をつけたけれど、そこで暮らす中で、違う環境で生活してみたいとか、人間関係、ストレス、親の事などで戻らなくちゃいけないというときに、江別の魅力を思い出して、帰る場所として江別が選択肢として浮かんでほしいんです。

4大学の学生に中長期で江別のことをどこか記憶の片隅に残すというか、インプットして、江別の良さを心に残してもらい、必要になったときに江別



を選んでもらう。言わば仕込みの時期なのかなと考えています。

今後、大学教員としてそんな気持ちで協力していきたいなと思っっています。

竹田 私も数多くの学生さんに、まず参加して欲しいというのがあります。

藤本先生も仰っっていますが、今後Uターンの学生も増えてくると思うんですよ。

こういう活動を続けていくことで、江別に帰りたいと思っってくれる学生が、きつと少しずつ増えてくるんじゃないのかなと思っっています。来年度からは内容をさらにアップグレードして、より地域に住むイメージができるような形にできたら良いなと思っっています。山田 とりあえず自分は江別で頑張っで、東京にいる大学の同期には「山田がいるら江別に戻って来ようかな」と思っつていられるようになりたいです。ジモ×ガクの後輩にも自分の姿を見て、江別に働っつていいなと思っつてもらえるように頑張っつていきたいです。荒木 僕も時間があればボランティア



などにも参加してみたいと思っいます。

—ジモ×ガクを通じ学んでほしいこと
深瀬 大学4年間という期間の中で、社会人になる準備ができれば良いのかなと思っっています。

準備つてなんなのかというところ、社会人と学生では考え方が全く違うんだという心構えです。学生は、就職するために大学に行っつていと思っいますが、技術的な事よりも、社会人としての心構えを準備していく必要があると思っつてますね。そういう意味でも、ジモ×ガクは、とても良い場所だと思っいます。



さまざまな年代の人や職業の人と話すというのは多様な価値観を与えてくれますからね。色々な人と会っつて、色々な考え方を受け入れてみっつてから社会人になるの良いのではないのでしょうか。また、たくさん失敗して、打たれてから社会人になっつてほしいというのもありまっす。

失敗しないで生きてくると、社会人になっつて失敗したときに立ち上がれなくなっつてしまっつてしまうので、できれば大学生のうち、どんな攻めた事をやっつて、失敗してみっつてほしいです。

自分で企画して、作っつて、失敗して、へこんで、そして強くなるという貴重な体験をして、社会に出る前に成長してきてほしいです。

みんなできつくる 未来のまち江別

令和元年10月1日、江別市の人口は15年ぶりに増加しました。しかし、全国的な人口減少傾向はいまだ続っつています。

人口減少社会では、経済や都市などが衰退していくと考えられており、中長期的に見れば私たちの住む江別市も例外ではないかと思っつてます。

ですが、それは確実を訪れる未来と言えるのでしょうか。

物理学の世界では、初期条件のわずかな差が、結果に大きな違いを生むことを「蝶々効果」と言っつています。

いま、江別には、さまざまなきつかけで地域へ関わるうとしてくれる若者が増えまっきました。

こうしたわずかな社会の変化が、蝶々効果を生み、人口減少社会で予想される未来を大きく変える、そんな力になるかもしれません。

私たちも明るい未来を待ち望むばかりではなく、彼らとともに未来のまちを作りまっせんか。彼らの生き生きとした姿は、きつと良い刺激を与えてくれるはず。

未来は、今の私たちがどう生きるのかに委ねられていっるのですから。

蝶々効果





特集への感想をお寄せください

▼郵送・ファクスで送る
〒067-8674 高砂町6 広報広聴課 宛
☎ 381-1149

▼市ホームページから送る
右のQRコードを読み込み、アンケートフォームから感想をご記入ください。

